

芦屋の里浜づくり会 第7回実行委員会

1. 「芦屋の里浜づくり」について
2. 芦屋の里浜育成活動について
3. 植樹の呼びかけ
4. 飛砂調査
5. 今後の予定について

開催日時：平成27年12月16日 19:00~

場所：芦屋町役場3階31会議室

1. 「芦屋の里浜づくり」について

～背景と目的～

～背景～

芦屋港の建設以降、港の西側部分には**広大な砂浜が広がりはじめ**、以前は歩いてすぐにとどろつくことができた水際までの距離が100mを越えるところも見られる。また、**堆積した砂が背後地へ飛び**、問題を引き起こしている。

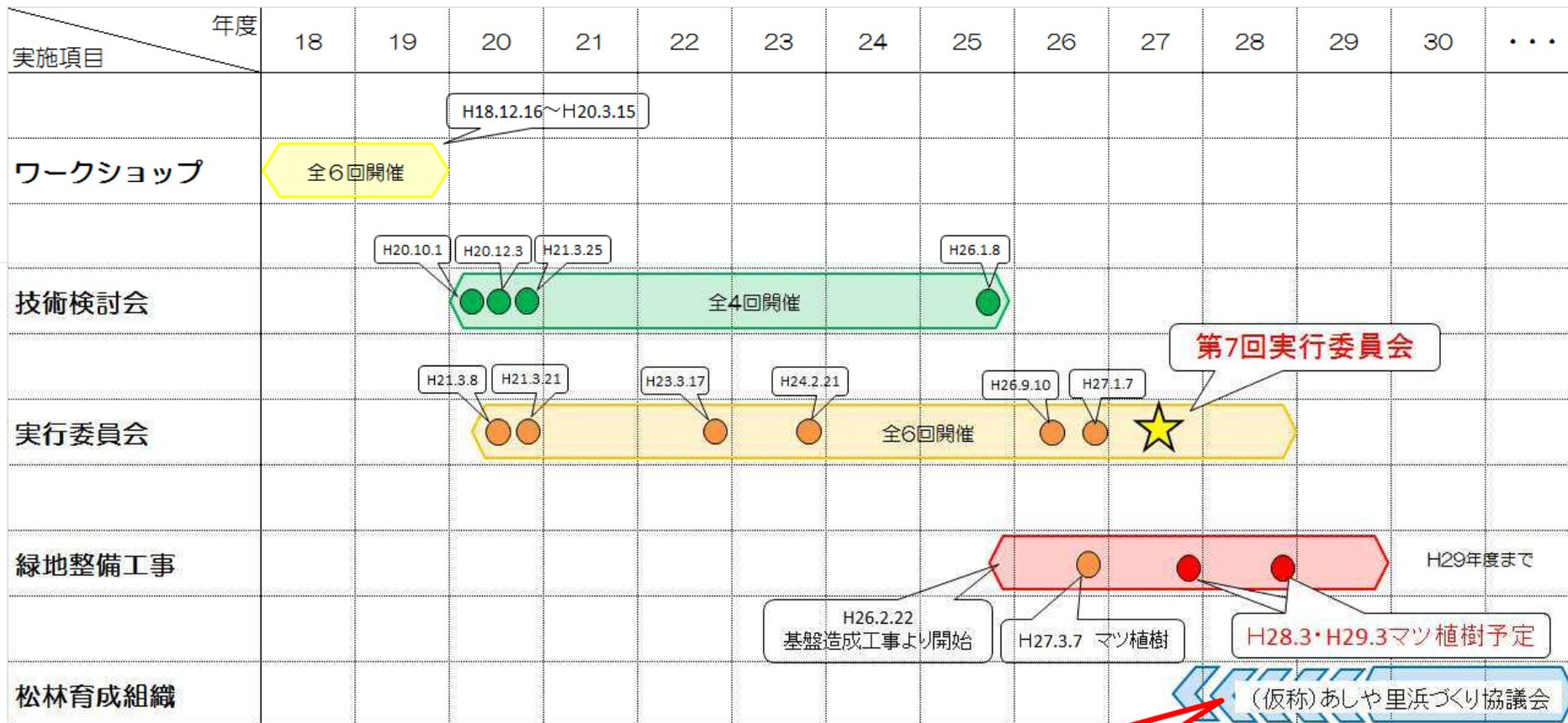


～目的～

こうした背景を踏まえ、H18年度～H19年度の2年間にわたり『芦屋の里浜づくりワークショップ』を開催し、芦屋海岸の理想の里浜像について話し合った。以後、かつての風光明媚な海岸であった芦屋海岸を思い出し、自分たちの海岸という認識で**「里浜づくり」**に取り組んで行くことになった。

1. 「芦屋の里浜づくり」について

～里浜づくりの取り組み～



芦屋の里浜育成活動について

1. 「芦屋の里浜づくり」について

～経緯～

【H18年～19年度にかけてワークショップを計6回開催】

1. **現況の地形（砂浜の形状）を生かした**グランドデザインとする。
2. 人工構造物ではない、**松林や植栽による飛砂対策**とし、子や孫の代まで長く造り育てることで、地域の財産となる松林を目指す。
3. 上記を達成するために、地域住民だけではなく広い範囲で「呼びかけ」（**一般市民の参加**）を行う。



ワークショップで作りに上げた里浜全体像

1. 「芦屋の里浜づくり」について

～経緯～

技術検討会とは・・・

目的	芦屋の里浜を実現するために飛砂対策としての 松林の造成等に関する技術的課題 について検討を行うことが目的である。
内容	技術検討会は4回開催され、芦屋海岸に松林を形成するために必要な施工方法など技術的課題を検討し、整備計画が承認された。

実行委員会とは・・・

目的	松林を含めた砂浜を地域の恒久的な財産として、 広く市民と行政の協働により長期的に“育て” “守り” “活用” する方法 を検討することが目的である。
内容	実行委員会は、これまでに6回開催され、里浜づくりにおける地域住民の公共事業への参加を議論した。第6回実行委員会を経て、住民参加による植樹を実施している。

第 7 回 実 行 委 員 会 に つ い て

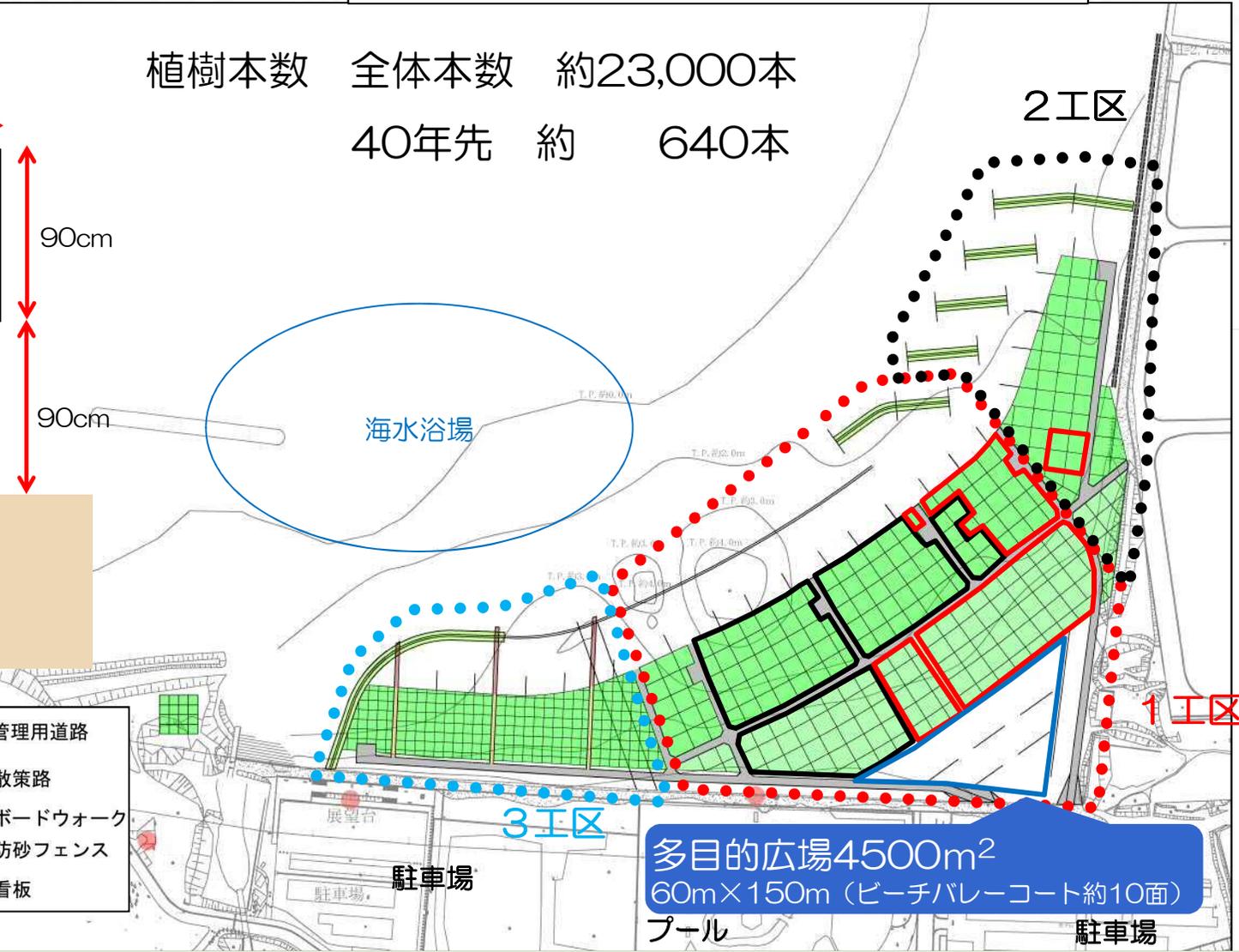
内容	これまでの技術検討会で創り上げた整備計画を基に、前年度より緑地整備に本格着手した。第7回実行委員会では、 植樹活動の住民参加の呼びかけ を行い、また、将来的に松林を 管理育成、利用する方策・組織づくり について検討を行う。
----	---

1. 「芦屋の里浜づくり」について

～全体計画～

— H26年度 7,500本
 — H27年度 約5,000本（予定）

植樹本数 全体本数 約23,000本
 40年先 約 640本



- 前砂丘(堆砂垣)
- 垣(静砂垣、防止垣)
- マツ (100本/100m²)
- マツ (50本/100m²)
- 管理用道路
- 散策路
- ボードウォーク
- 防砂フェンス
- 看板

1. 「芦屋の里浜づくり」について

～芦屋の里浜づくり 植樹状況（平成27年3月7日）～

参加者：約400人、植樹本数：約3,000本



1. 「芦屋の里浜づくり」について

～芦屋の里浜づくり 植樹状況（平成27年3月7日）～



1. 「芦屋の里浜づくり」について

～芦屋の里浜づくり 育成状況～

枯れた本数

I-② : 1本 (10/5撤去)

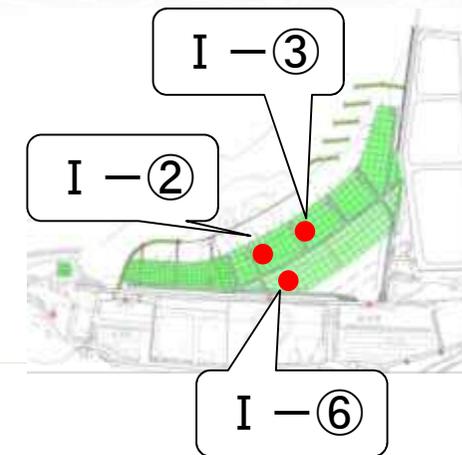
I-③ : 1本 (10/5撤去)

I-⑥ : 2本 (6/6撤去)



要観察

I-③ : 1本 (幹折)



枯れたマツは
合計 : 4本

枯れてないマツの本数 : 7, 496本

観察対象 : 7, 500本

枯れない確率
99.95%

1. 「芦屋の里浜づくり」について

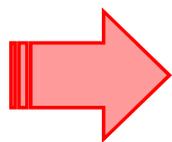
～芦屋の里浜づくり 育成状況 試験施工箇所～



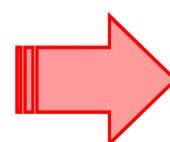
平成24年3月に植樹



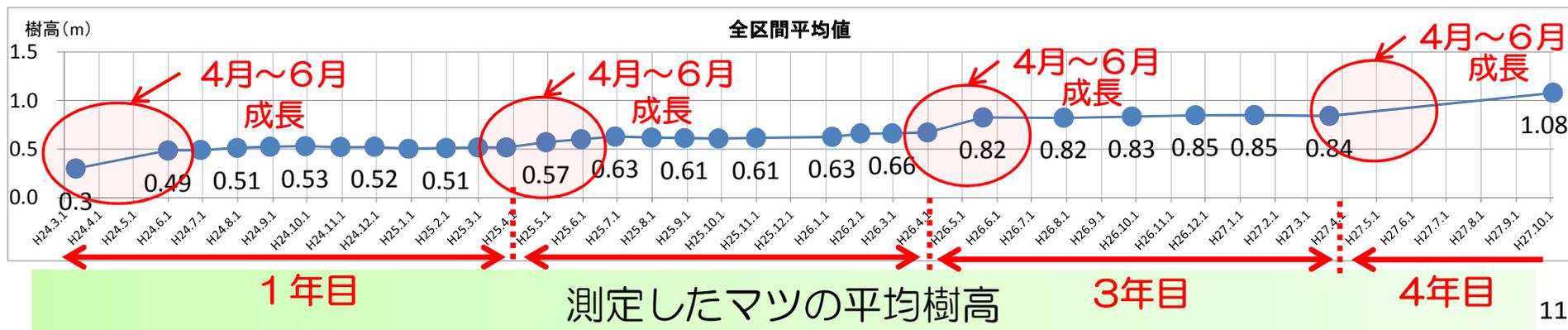
① H24.6
(観察記録)
樹高：約50cm



② H25.7
(観察記録)
樹高：約60cm



③ H27.10
(観察記録)
樹高：約110cm



2. 芦屋の里浜育成活動

他の地域の活動事例

	活動場所	団体名	日	内容
事例①	虹の松原	虹の松原保護対策協議会 ※KANNEが窓口	10/4	虹の松原清掃活動
事例②	虹の松原	虹のいちろく会	11/5	幼稚園松葉力キ交流会



2. 芦屋の里浜育成活動

～他の地域の活動事例① 虹の松原 虹の松原保護対策協議会～



2. 芦屋の里浜育成活動

～他の地域の活動事例② 虹の松原 虹のいちろく会～



2. 芦屋の里浜育成活動

どちらのマツ林が芦屋の里浜にふさわしいと思いますか？
手入れしない場合（左）は、うっそうとなり、景観・防犯
上良くありません。

白砂青松（右）を目指すなら皆様の協力が必要です！！

なにも手入れしない場合

手入れした場合



2. 芦屋の里浜育成活動

～活動メニュー～

他の事例やこれまでの委員会の結果を踏まえた、**芦屋の里浜育成活動メニュー**を示す。

主に“**行政**”が行うこと

- ・ 間伐
- ・ 下枝剪定
- ・ 施設の整備・補修
- ・ 薬剤散布（松くい虫・毛虫）
- ・ マルチングの撤去
- ・ アキグミの除伐
- ・ 成長不良木の除去 など

主に“**住民**”にお願い したいこと

- ・ ゴミ拾い
- ・ 松葉がき
- ・ 見回り
- ・ クロマツの補植
- ・ 定期的なイベント など
ビーチバレー
ビーチサッカー
砂像展

2. 芦屋の里浜育成活動

～イベント例（芦屋町 砂像展）～



2. 芦屋の里浜育成活動

～イベント例（唐津市 昆虫・植物・きのこ探し）～

虹の松原だより 2015年秋 第45号
発行者 NPO法人KANNE

生き物いっぱい 見つけたよ!

夏の暑い8月1日(土)、虫博士の吉田喜美明先生を講師にお招きし、虹の松原の虫さがしを開催! 家族連れ9人が参加してくださいました。

まずは昆虫採集をするために必要な道具(三角紙)や標本にするための台づくり。そして、昆虫採集に出発!

子どもたちだけではなく保護者の皆さんも夢中になって、松原の中や浜辺で網を上手に使用して・・・トンボ、バッタ、ハチ、アリ、アリジゴクなど、たくさんの昆虫を捕まえることができましたよ☆(^o^)

また、自然の海浜にしか生息しないとても貴重なヤマトマダラバッタを今年も観察することが出来ました! 虫さがしをしながら、虹の松原に親しみをもってもらえたかな?

みんな真剣!!

猛暑に負けぬ草花たち!

8月2日(日)、連日の観覧会となった2日目のテーマは・・・植物!

夏の厳しい暑さの中、植物博士の川浪誠先生を先頭に、12名の参加者と一緒に松原の散策をスタート☆

数種類の植物を観察しながら松原の中を抜け、浜に出ると・・・あゝ暑いっ! (×0×) 砂浜の温度を測ったら40℃に達していました。しかし浜の植物は生き生きと緑色に茂ったり花を咲かせたりと、たくましい姿。

ゴミかと思っていたオレンジ色の糸のように見える「アメリカネナシカズラ」という植物も観察し、30分ほど暑い浜で海浜の植物観察をした後、松原へ戻ると、松の木陰とそよ風が私たちを癒してくれて、改めて松原の恩恵を感じた瞬間でした♡

あんなに暑い中、こんなに植物を観察できてよかった!

あんなに暑い中、こんなに植物を観察できてよかった!

2014年冬 第42号
発行者 NPO法人KANNE

2015年3月24日
祝 特別名勝指定 60周年!

虹の松原だより

11月9日(日) キノコさがし隊出動!!

もくじ
1P キノコさがし隊
2P KPP
3P まる日和 クイズコーナー
4P イベント情報 松じいの豆知識 虹松写真館 お知らせ

あしかりしょうじ 芦刈 昭司 先生
キノコの事なら何でもおまかせ☆キノコ博士!!

あんなに暑い中、こんなに植物を観察できてよかった!

みてみて～! アミタケ とれたよ☆

29種類も とれましたっ☆

参加者の声
・松原にこんなにいるんなキノコがあるとはしりませんでした。初めての事はかり楽しかったです。
・またしたいです。おもしろかったです。
・自分たちでお弁当を持ってきてもよかったです。
・もう少し長い時間がしたかったです。
・食べられるキノコがとれてうれしかったです。

虹の松原は国有林のため、松原内の動物植物等を許可なく持ち出すと「森林保護法」で罰金がかかります。虹の松原でキノコ狩りをしたい方はこちらお問い合わせください。 佐賀森林管理署 0952-26-1111

真剣に鑑定 >>そして....

2. 芦屋の里浜育成活動

～他の活動事例～

※参考：福岡県 平成25年度森林づくり活動公募事業の概要、その他関連HPより

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
三里松原 防風保安林保全 対策協議会※	←		清掃活動	(年間通じて見回り活動)					松葉がき	→			
さつき松原 管理運営 協議会※	←		清掃活動	(エリア毎に里親を定めて年間を通じて環境美化活動)							植 樹	松枝拾い	→
はかた 夢松原の会※ (NPO法人)	←		(年間を通じて様々な啓発活動や美化活動)					松葉がき	間伐枝打	→			
虹の松原保護対 策協議会および KANNE	きのこ観察会・かねまつりなど											植 樹	
虹のいちろく会	松葉がき											植 樹	
今津松原を 守る会									清掃活動	松葉がき	植 樹		
美の松露						きのこ観察会			松葉がき				

清掃活動 植 樹 間伐枝打 松葉がき 各種イベント

※活動時期は、年によって異なります 20

2. 芦屋の里浜育成活動

活動を行っている団体の成り立ち

これらの団体あるいは他の団体においても市民が白砂青松の松原にしたいとの気持ちから発足した例が多い。

①美の松露

H22年3月に5名で発会する。会員数10人※でNPO法人化を目指している。（※福岡市NPOボランティア交流センターあすみん：<http://www.fnvc.jp/>）

②虹のいちろく会

高齢者大学唐津校OBで発会する。会員数31人※である。（※KANNEホームページ：http://www.karatsucity.com/~kanne/pine_field/topicslist.cgi?no=8）

③今津松原を守る会

H18年4月に設立する。
組織：役員4人、会計監事2人、実行委員（各町より6人）、市（西区地域支援課・林政課・文化財）、公民館長

④はかた夢松原の会

1987年、主婦を中心とした20名で発足させ、市民の手による松原の実現を呼びかけることにした※。現在NPO法人である。（※http://www.suntory.co.jp/sfnd/prize_cca/detail/1993ko1.html）

2. 芦屋の里浜育成活動

～さつき松原の活動事例～

育成活動の協力者

ボランティア・NPO、教育機関（小中学校など）、民間団体（地場企業・各種団体など）、地域住民

協働で実施

アダプト・プログラム（公共施設等を「養子」とみなして、手入れする）の導入により、区分けしたさつき松原をエリア毎に里親（地元自治会、コミュニティ、企業等）を定めて、環境美化活動を行なう。

さつき松原管理運営協議会

構成団体：宗像市、地元コミュニティ、**さつき松原保存会（中心となり活動）**、むなかた「水と緑の会」、宗像観光協会

管理等に関する協定

芦屋でも必要

オブザーバー（管理者である国（福岡森林管理署））

2. 芦屋の里浜育成活動

～芦屋の里浜の例～

育成活動の協力者

地域住民、ボランティア団体、教育機関（小中学校など）、
民間団体（地場企業・各種団体など）

協働で実施

アダプトプログラム等

（仮称）あしや里浜づくり協議会

構成例 : 浜崎区、幸町区、白浜区、芦屋町4校PTA、NPO法人玄海ライフセービングクラブ、芦屋町商工会 青年部、芦屋町砂像連盟、芦屋町観光協会、遠賀漁業協同組合、（仮称）あしや松原保存会など・・・

協力・支援

行政（福岡県と芦屋町）

2. 芦屋の里浜育成活動

～さつき松原保存会の成り立ち～

経緯

地元（玄海町）の人が中心となり、『住民がマツを守る』という強い気持ちで保存会を立ち上げた。さつき松原保存会は、任意団体として活動している。

発足時期

平成8年くらい。

発足人数

20人くらいであり、一般の人（自営業・農業・漁業など）である。

2. 芦屋の里浜育成活動

活動を助成する制度など

①福岡県港湾協会

港湾事業推進の一環として、港湾地域周辺における環境の保全及び港湾への理解を深めるため事業が対象である。

内容：港湾愛護推進団体等への物品支援、啓発パンフレット・チラシの作製、配布等に対する支援、清掃活動に対する支援(清掃用品等)

②福岡県農林水産部（福岡県森林づくり活動公募事業）

森林の整備・保全、里山保全・森林環境教育などが対象である。

事例：三里松原防風保安林保全対策協議会など

③（一財）日本緑化センター（宝くじ松配布事業）

マツの保護育成技術の普及啓発と宝くじの宣伝を行うとともに、マツ枯れにより失われた緑地の復旧をする。

事例：福岡県芦屋町（鶴松保安林）

④（公社）国土緑化推進機構（緑の募金）

国内または海外で行う森林整備及び緑化推進の活動など（一般事業など）

などがある。

※平成27年度時点の助成制度です。 25

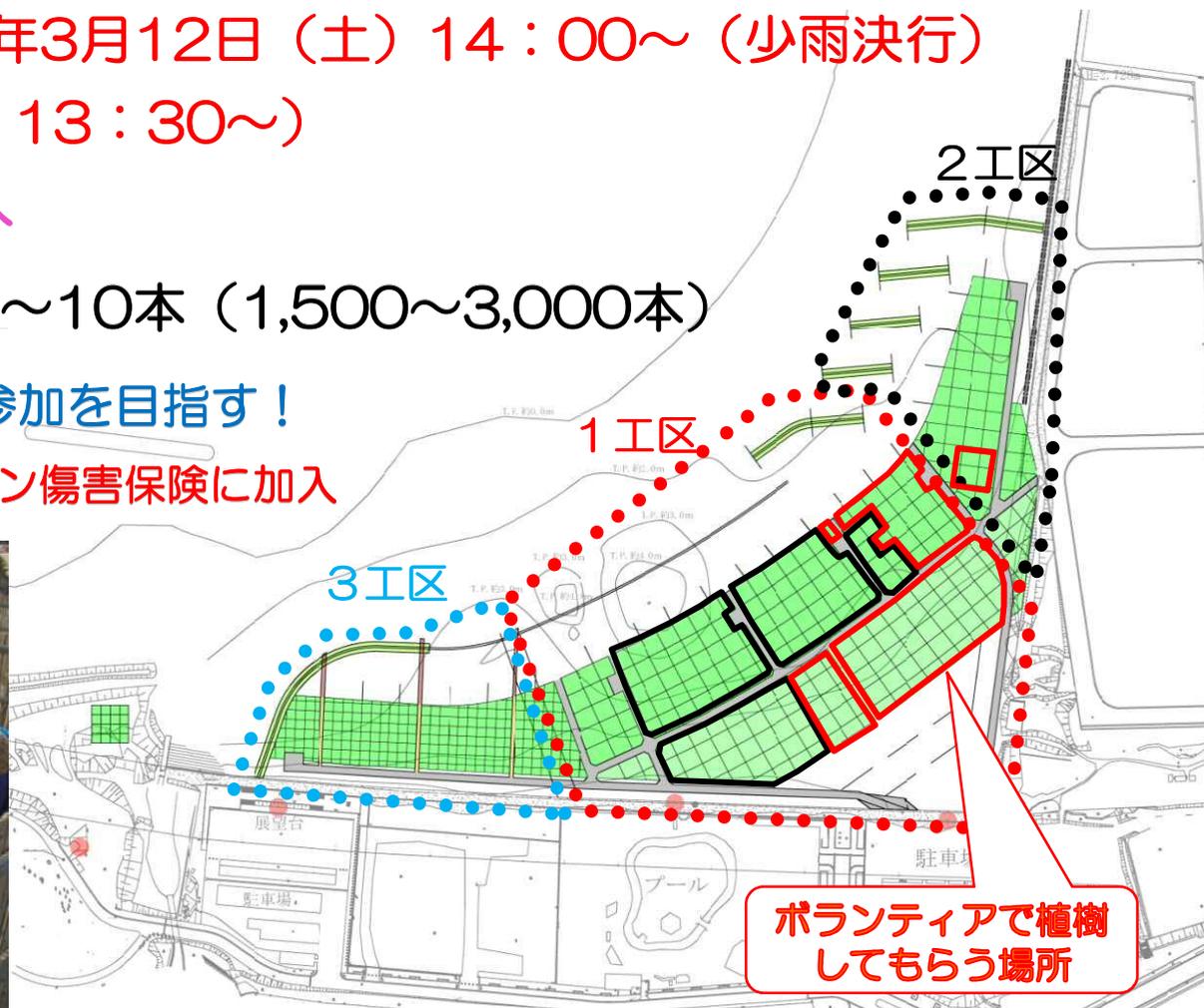
3. 植樹の呼びかけ

植樹の予定案

- ・ 開催日時 : 平成28年3月12日 (土) 14:00~ (少雨決行)
(受付 13:30~)
- ・ 参加者目標 : 300人
- ・ 植栽本数 : 1人5本~10本 (1,500~3,000本)

※たくさんの小中学生の参加を目指す!

※主催者側でレクリエーション傷害保険に加入



3. 植樹の呼びかけ

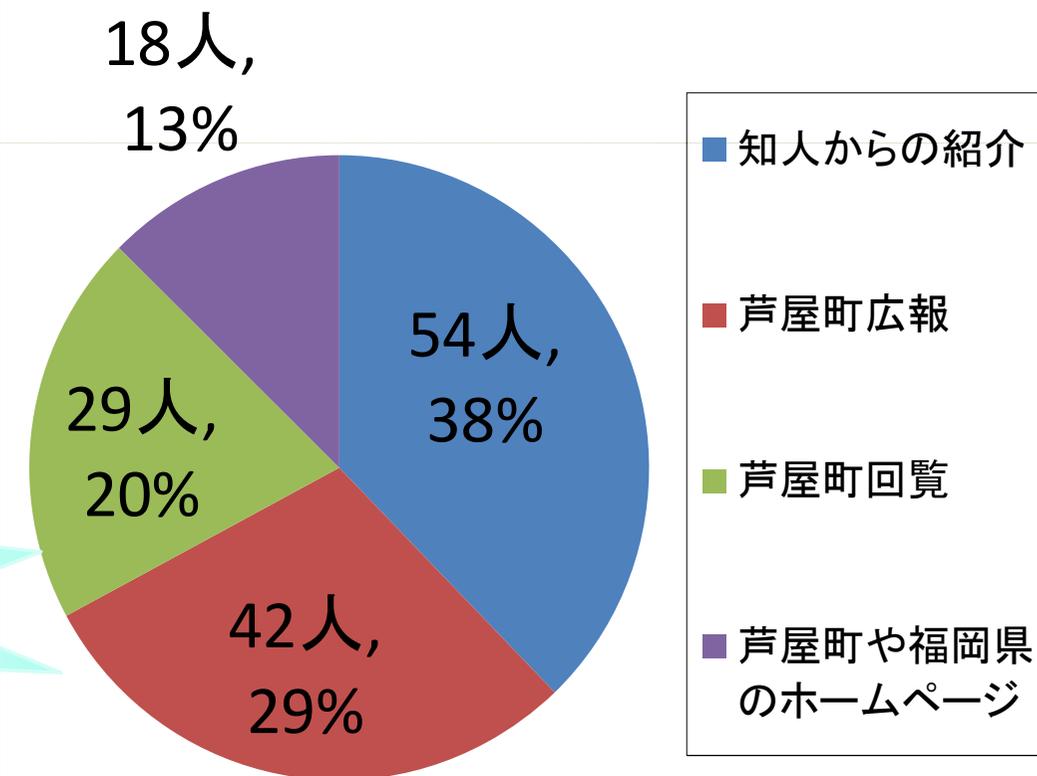
平成27年3月7日（土）植樹後にアンケートを実施した結果

問2 植樹をどこで知りましたか（複数回答）～

知人からの紹介：38%
芦屋町広報：29%
芦屋町回覧：20%

芦屋町や実行委員の協力が
必要不可欠

問2 今回の植樹はどこで知りましたか？



3. 植樹の呼びかけ

植樹の呼びかけ方法（案）

知人からの紹介

芦屋町の広報に折込み配布、記事掲載

町内回覧

ホームページに掲載

町役場、県土整備事務所に申込書を配置

小中学校の卒業記念植樹・総合学習に利用

3. 植樹の呼びかけ

～植樹までの流れ～

27/12/16

第7回実行委員会

1/15

一般募集

実行委員会関係者による
呼びかけ

- ・ 町広報誌 “広報あしや”
1/15 (折込)
2/15 (記事掲載) に予定
- ・ 町内回覧
- ・ 県・町ホームページ掲載

関係者の皆さまの “つながり” を活用した
多方面への声掛けをお願いします！

- ・ 教育関係
- ・ 環境保全・ボランティア団体
- ・ 観光・商工関係
- ・ 近隣企業
- ・ ご近所つながり など

2/26×切

参加者とりまとめ・植樹の準備

28/3/12 (予定)

植 樹

3. 植樹の呼びかけ

(案)

”芦屋の里浜づくり”



お知らせ

植樹 3月12日(土)

に参加しませんか?

福岡県と芦屋町は、地域住民の皆さんと一緒に、芦屋海岸に地域の財産として将来に誇れるすばらしい松林を造り育て、あわせて飛砂被害を軽減させる取り組みを行っています！
みなさん、ぜひ、植樹にご参加ください♪



実施概要

- 内容：芦屋海岸に植樹（マツ）を行います！
- 開催日：平成28年3月12日(土)
- 時間：受付13:30～
開始14:00～(1～2時間程度)
- 集合：芦屋海浜公園駐車場
- 持ち物：園芸用スコップ、軍手、タオル
(強風時は砂が飛散するので、長靴やフードの着用がお勧めです。)
- その他：少雨決行
(雨天により中止する場合は、裏面の方法でお知らせ致します。)

- この植樹は、「芦屋の里浜づくり事業」の一環として、福岡県が行っているものです。
- 事業の詳細は、ホームページで確認いただけます。「福岡県 芦屋 里浜」で検索してみてください。



将来のマツ林のイメージ

その他お知らせ

- 海沿いで風が強いので、寒くない格好で来てください。
- 強風で砂が舞うことがあるので、コンタクトレンズよりメガネがお勧めです。
- 主催者側でレクリエーション傷害保険に加入します。
- 車でご来場の方は芦屋海浜公園駐車場をご利用ください。(無料)
- 当日ご都合が悪い方で、植樹にご協力いただける方は、事前にご連絡いただければ3月14日(月)～3月19日(土)の期間で別途植樹にご参加いただけます。
- 当日の状況写真などを後日、ホームページ等で使用する事があります。

(問い合わせ先)

福岡県 北九州県土整備事務所
砂防港湾係 TEL 093-691-2808



マツを植えているところ

植樹の参加申込書

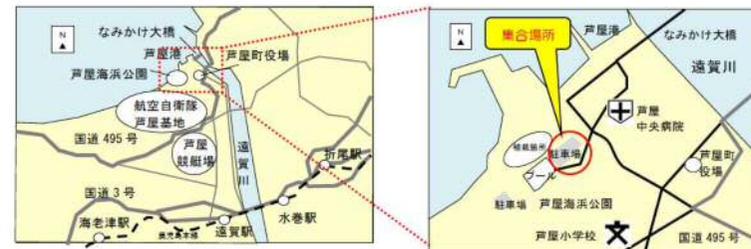
植樹にご参加いただける方は、下欄にお名前等をご記入のうえ、2月26日(金)までに、本用紙をファックス(093-691-2921)、または、下記申し込み先(①または②)へ直接お持ちください。

お名前	(いずれかを○で囲ってください。)			年齢区分
	ご住所	性別	年齢区分	
	芦屋町内・町外	男・女	① ② ③ ④ ⑤	年齢区分 ① ~15歳 ② 16~29歳 ③ 30~44歳 ④ 45~59歳 ⑤ 60歳~
	芦屋町内・町外	男・女	① ② ③ ④ ⑤	
	芦屋町内・町外	男・女	① ② ③ ④ ⑤	
	芦屋町内・町外	男・女	① ② ③ ④ ⑤	
	芦屋町内・町外	男・女	① ② ③ ④ ⑤	

申し込み先 ①
福岡県 北九州県土整備事務所
河川砂防課 砂防港湾係
〒807-0831
北九州市八幡西区則松3丁目7-1

申し込み先 ②
芦屋町役場
企画政策課 総合政策係
〒807-0198
遠賀郡芦屋町幸町2番20号

○集合場所(芦屋海浜公園駐車場)



荒天などにより中止する場合について

中止のお知らせは、当日10時以降にホームページで確認いただくか、もしくはお電話でご確認ください。

(<http://www.sanyo-cnsf.co.jp/asiyasatohama/archives/1/>)

電話番号 093-691-2808

(受付時間 12日(土) 10:00~15:00)



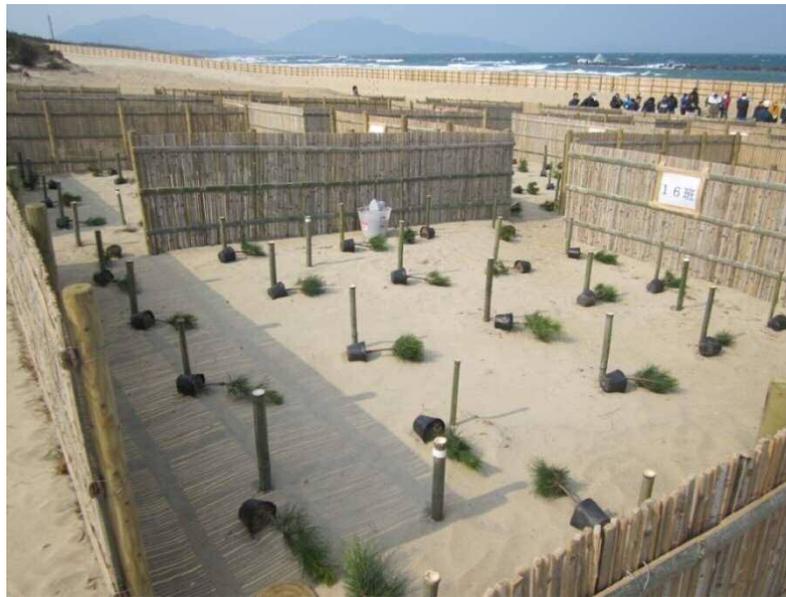
QRコード対応の携帯電話でこのQRコードを撮影すると、左記サイトにアクセスできます。

3. 植樹の呼びかけ

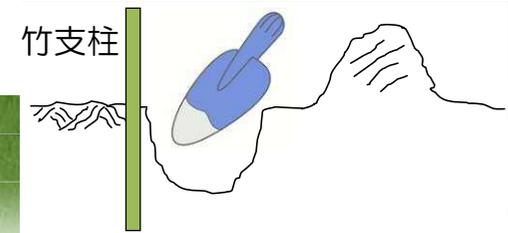
～植樹の手順～

下のような状態にしています。

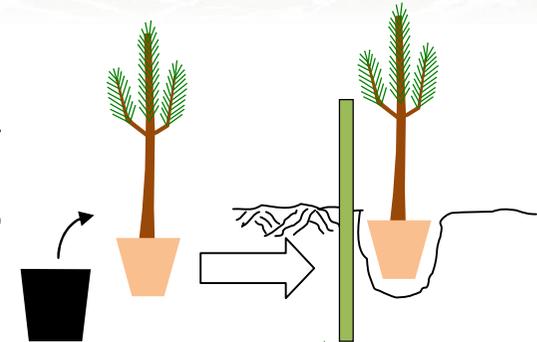
- ①ポット苗が入る程度の穴を掘る。
- ②ポットからマツを取り出しポットの土が着いた状態でマツを入れる。
- ③土を入れる。
- ④竹支柱にマツを固定し、完成



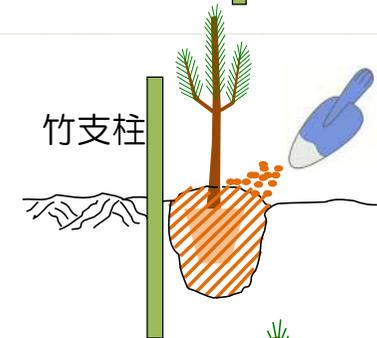
①穴を掘る



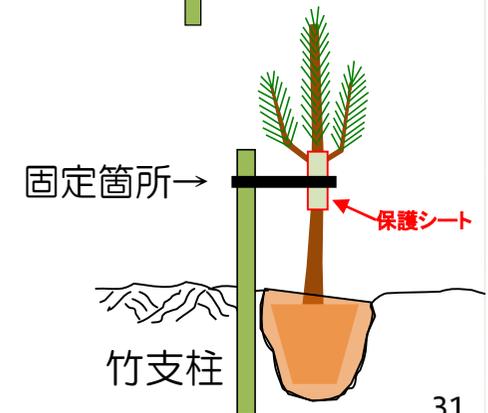
②マツを入れる



③土を入れる

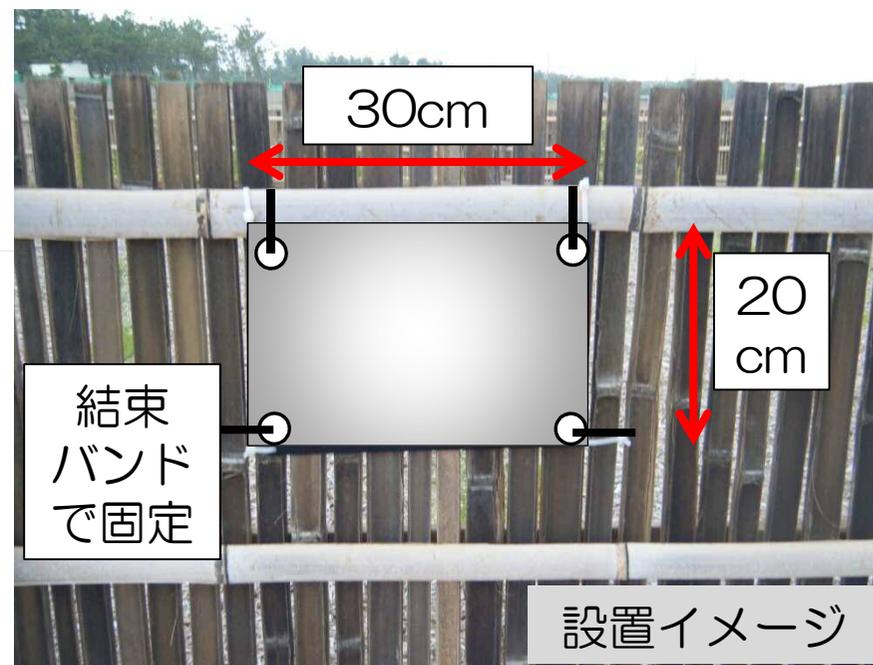


④マツを竹支柱に固定



3. 植樹の呼びかけ

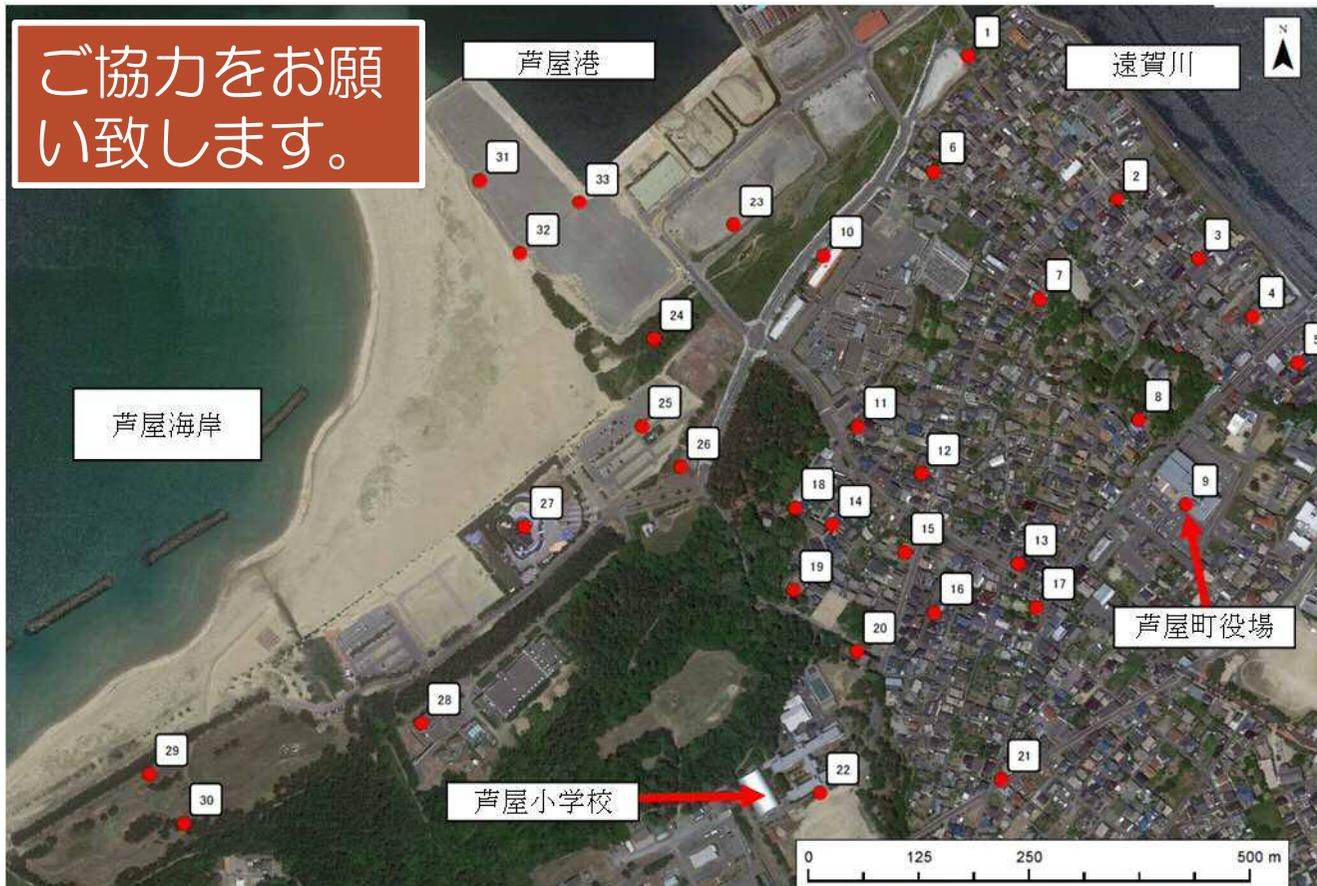
～ネームプレート～



4. 飛砂調査

～飛砂調査のお知らせ～

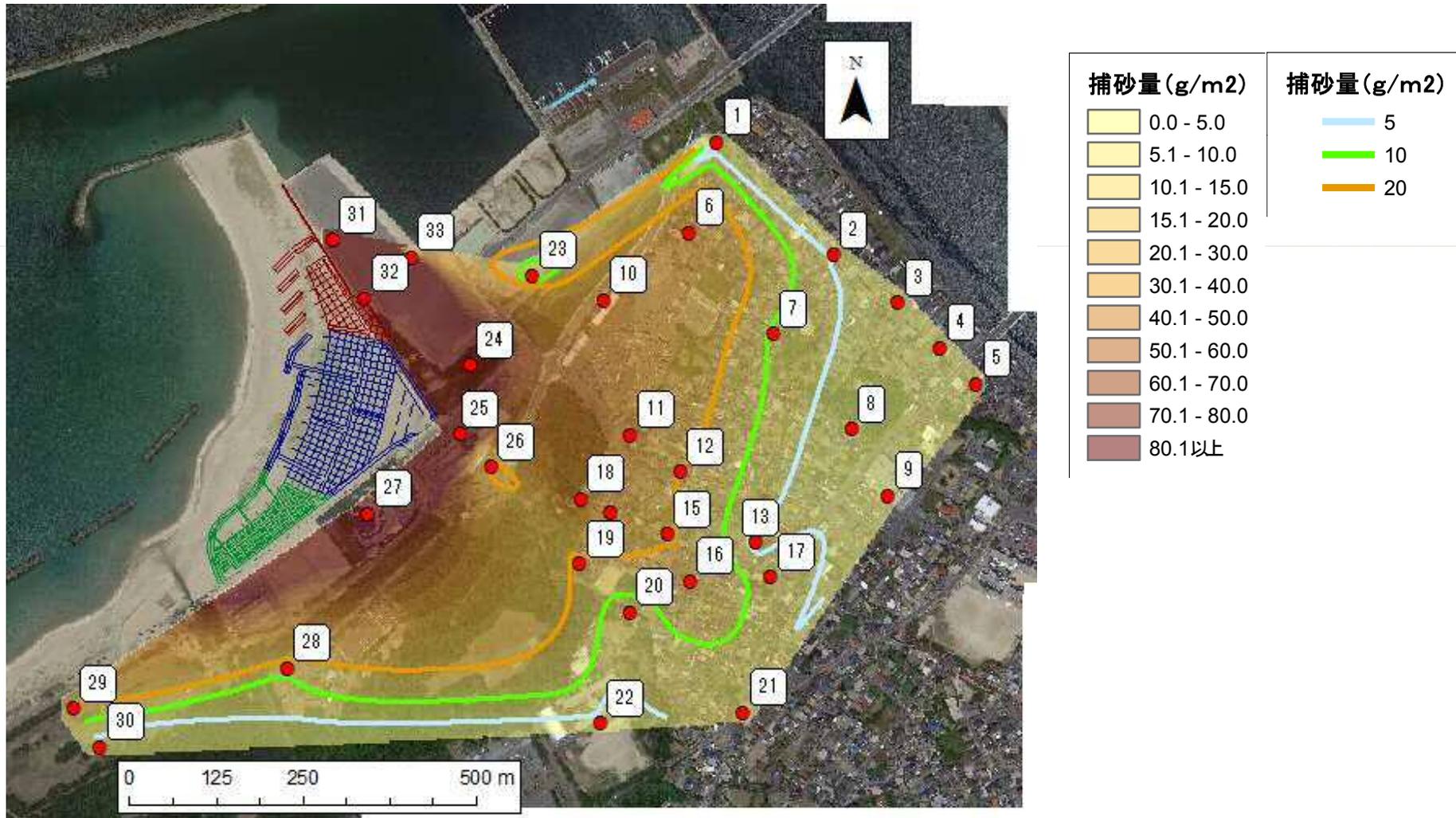
飛砂調査は、平成25年度より行っている。
今年度も同様の箇所で行う。



4. 飛砂調査

～平成26年度の飛砂調査の結果～

12月末、1月末、2月末における3回の計量の平均値を示す。



5. 今後の予定

【工事】

27年	11月～	基盤整備・静砂垣設置など
28年	3月頃	クロマツ植樹
28年	11月～	基盤整備・静砂垣設置など
29年	3月頃	クロマツ植樹
29年	10月～	散策路・ボードウォーク設置など

【実行委員会】

28年 第8回実行委員会 開催予定



おわり